

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2015年5月7日～2020年5月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの受益証券
	メキシコ株マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のDR（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたETFをいいます。また、メキシコから売り上げまたは利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# メキシコ株ファンド

## 運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2017年11月17日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「メキシコ株ファンド」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5680>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率					
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2015年11月17日)	9,781	0	△ 2.2	9,199	△ 8.0	96.9	—	—	165
2 期末 (2016年 5月17日)	8,771	0	△ 10.3	7,814	△ 15.1	97.3	—	—	154
3 期末 (2016年11月17日)	7,599	0	△ 13.4	6,932	△ 11.3	96.0	—	1.5	119
4 期末 (2017年 5月17日)	9,243	0	21.6	8,558	23.5	92.7	—	4.4	164
5 期末 (2017年11月17日)	8,809	0	△ 4.7	8,124	△ 5.1	93.8	—	4.9	165

(注1) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

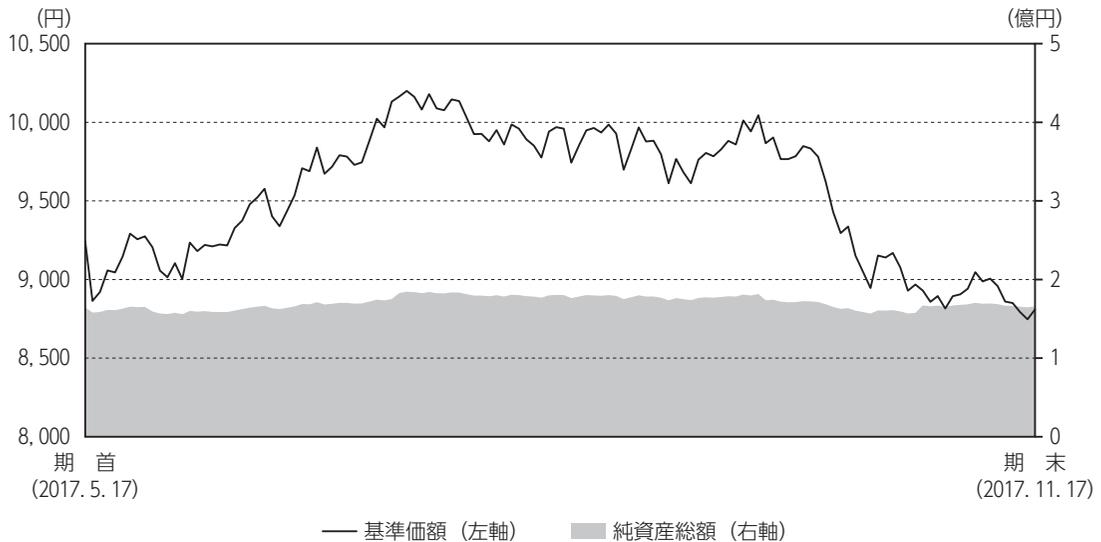
(注3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,243円

期末：8,809円

騰落率：△4.7%

#### ■ 基準価額の変動要因

NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉において米国が強硬姿勢を強めたため交渉が決裂し、米国がNAFTAから脱退することへの懸念が強まり、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで下落し、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したため、基準価額は下落しました。

## メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2017年5月17日	9,243	—	8,558	—	92.7	—	4.4
5月末	9,057	△ 2.0	8,385	△ 2.0	91.9	—	5.1
6月末	9,673	4.7	8,766	2.4	94.8	—	3.5
7月末	9,925	7.4	9,126	6.6	93.4	—	3.5
8月末	9,967	7.8	9,151	6.9	94.3	—	4.4
9月末	9,766	5.7	8,934	4.4	93.3	—	5.6
10月末	8,815	△ 4.6	8,243	△ 3.7	91.3	—	5.1
(期末)2017年11月17日	8,809	△ 4.7	8,124	△ 5.1	93.8	—	4.9

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017. 5. 18 ~ 2017. 11. 17)

**■メキシコ株式市況**

メキシコ株式市況は、期首から2017年7月にかけて、メキシコ州知事選挙で与党候補が勝利し、左派政党MORENA（国家再生運動）台頭への懸念が後退したことや、大手企業の総じて良好な2017年4-6月期決算が好感され、堅調な展開となりました。8月半ばからNAFTA再交渉が始まると、それまでは支配的であった楽観論が後退し、交渉の長期化への懸念が徐々に強まりました。また、FRB（米国連邦準備制度理事会）による2017年内追加利上げへの期待が高まったこともあり、9月にかけて反落しました。その後、米国がNAFTA再交渉で態度を硬化させ、メキシコやカナダが受け入れ難い提案を複数打ち出したため交渉が決裂し、米国がNAFTAから脱退することへの懸念が高まりました。また、メキシコを襲った2度の大規模な地震の影響もあって大手企業の2017年7-9月期決算がさえなかったことも悪材料となり、期末にかけては続落しました。

**■為替相場**

メキシコ・ペソは対円で下落しました。期首より、メキシコ州知事選挙で与党候補が勝利し、左派政党MORENA台頭への懸念が後退したことなどを受け、2017年7月半ばにかけて上昇しました。その後、8月半ばから始まったNAFTA再交渉において米国が態度を徐々に硬化させたことで、交渉の行方に対する悲観的な見方が強まったため、10月にかけて下落する展開となりました。FRBによる年内の追加利上げ観測が強まったこともペソ安要因となり、期首比で小幅に下落して期末を迎えました。

**前期における「今後の運用方針」****■当ファンド**

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

**■メキシコ株マザーファンド**

トランプ政権の通商政策への態度が軟化し、メキシコに対する悲観的な見方は後退しています。NAFTA再交渉の行方や米国の税制改革に国境税の調整が含まれるかどうかなどを見守る必要がありますが、米国側が建設的な態度を維持する限りメキシコ景気が大きなダメージを受ける可能性は小さく、メキシコ株式の下値余地は限定的とみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。継続的な雇用の増加と低水準のイン

フレにより、メキシコ景気は今後も堅調に推移すると期待されます。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

### ポートフォリオについて

(2017. 5. 18 ~ 2017. 11. 17)

#### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位としました。

#### ■メキシコ株マザーファンド

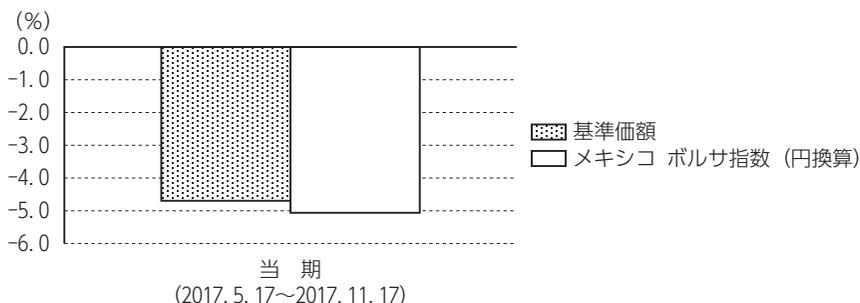
当期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。また、NAFTA再交渉や2018年7月のメキシコ大統領選挙で市場が不安定化する可能性に備え、業績の安定度が高い企業の組入比率を高めました。個別銘柄では、高い業績成長率にもかかわらず競合他社と比較して割安な水準で取引されていた銀行BANCO DEL BAJIO（金融）やメキシコ国内の規制・競争環境が改善した通信会社AMERICA MOVIL（電気通信サービス）などを買付けました。一方で、株価上昇により相対的な魅力が低下した銀行GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）や業績見通しが大幅に悪化した金融機関GENTERA（金融）などを売却しました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、銀行を中心とした金融セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、銀行のBANCO DEL BAJIO（金融）やBANREGIO（金融）、食品会社のGRUMA（生活必需品）などを高位の組み入れとしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年5月18日	2017年11月17日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	133

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ■メキシコ株マザーファンド

メキシコ株式市場は、短期的な不透明感が強まっています。N A F T A再交渉は成功裏に終わるとみっていますが、交渉の長期化が予想されます。また、2018年7月にはメキシコ大統領選挙があり、2018年春ごろから選挙戦が本格化するに連れ、市場の注目を集めそうです。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 5. 18~2017. 11. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0. 898%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 547円です。
(投 信 会 社)	(42)	(0. 436)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0. 436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	22	0. 226	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(20)	(0. 204)	
(投 資 信 託 証 券)	(2)	(0. 022)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	36	0. 381	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(36)	(0. 379)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	144	1. 506	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## メキシコ株ファンド

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年5月18日から2017年11月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ株マザーファンド	23,312	22,900	15,214	15,300

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年5月18日から2017年11月17日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	163,708千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	158,577千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.03

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### ■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	金 額	評 価 額	□ 数	金 額	評 価 額
	千口	千円	千円	千口	千円	千円
メキシコ株マザーファンド	171,409	179,507	165,397			

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2017年11月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	165,397	98.8
コール・ローン等、その他	1,939	1.2
投資信託財産総額	167,336	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.97円、1メキシコ・ペソ＝5.93円です。

(注3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（163,917千円）の投資信託財産総額（166,971千円）に対する比率は、98.2%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	167,336,894円
コール・ローン等	1,939,109
メキシコ株マザーファンド（評価額）	165,397,785
(B) 負債	1,538,536
未払信託報酬	1,533,975
その他未払費用	4,561
(C) 純資産総額（A－B）	165,798,358
元本	188,206,612
次期繰越損益金	△ 22,408,254
(D) 受益権総口数	188,206,612口
1万口当り基準価額（C/D）	8,809円

\* 期首における元本額は178,034,876円、当期中における追加設定元本額は30,856,210円、同解約元本額は20,684,474円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,809円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,408,254円です。

## ■損益の状況

当期 自 2017年 5月18日 至 2017年11月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 273円</b>
受取利息	7
支払利息	△ 280
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 7,410,694</b>
売買益	707,358
売買損	△ 8,118,052
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,538,536</b>
<b>(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 8,949,503</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 5,113,569</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 8,345,182</b>
(配当等相当額)	( 574,019)
(売買損益相当額)	(△ 8,919,201)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 22,408,254</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>△ 22,408,254</b>
追加信託差損益金	△ 8,345,182
(配当等相当額)	( 574,019)
(売買損益相当額)	(△ 8,919,201)
分配準備積立金	1,940,243
繰越損益金	△ 16,003,315

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：481,118円（未監査）

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	412,891円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	574,019
(d) 分配準備積立金	1,527,352
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,514,262
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,514,262
(h) 受益権総口数	188,206,612口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# メキシコ株マザーファンド

## 運用報告書 第5期 (決算日 2017年11月17日)

(計算期間 2017年5月18日～2017年11月17日)

メキシコ株マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のDR（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたETFをいいます。また、メキシコから売り上げまたは利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

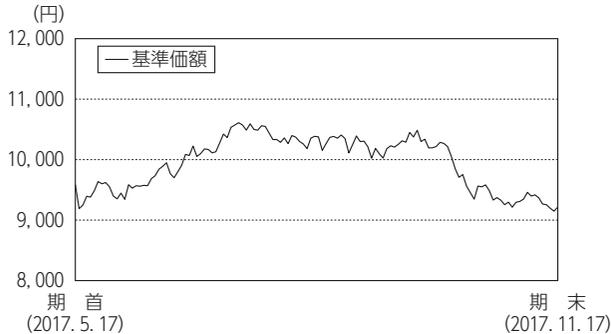
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	%	参考指数	%			
(期首) 2017年5月17日	9,583	—	8,558	—	92.9	—	4.4
5月末	9,396	△2.0	8,385	△2.0	92.1	—	5.1
6月末	10,051	4.9	8,766	2.4	95.0	—	3.5
7月末	10,331	7.8	9,126	6.6	93.6	—	3.5
8月末	10,391	8.4	9,151	6.9	94.5	—	4.4
9月末	10,195	6.4	8,934	4.4	93.4	—	5.6
10月末	9,212	△3.9	8,243	△3.7	91.5	—	5.1
(期末) 2017年11月17日	9,214	△3.9	8,124	△5.1	94.0	—	4.9

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

## ◆基準価額等の推移について

## 【基準価額・騰落率】

期首：9,583円 期末：9,214円 騰落率：△3.9%

## 【基準価額の主な変動要因】

NAFTA (北米自由貿易協定) 再交渉において米国が強硬姿勢を強めたため交渉が決裂し、米国がNAFTAから脱退することへの懸念が強まり、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで下落し、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したため、基準価額は下落しました。

## ◆投資環境について

## ○メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は、期首から2017年7月にかけて、メキシコ州知事選挙で与党候補が勝利し、左派政党MORENA (国家再生運動) 台頭への懸念が後退したことや、大手企業の総じて良好な2017年4-6月期決算が好感され、堅調な展開となりました。8月半ばからNAFTA再交渉が始まると、それまでは支配的であった楽観論が後退し、交渉の長期化への懸念が徐々に強まりました。また、FRB (米国連邦準備制度理事会) による2017年内追加利上げへの期待が高まったこともあり、9月にかけて反落しました。その後、米国がNAFTA再交渉で態度を硬化させ、メキシコやカナダが受け入れ難い提案を複数打ち出したため交渉が決裂し、米国がNAFTAから脱退することへの懸念が高まりました。また、メキシコを襲った2度の大規模な地震の影響もあって大手企業の2017年7-9月期決算がさえないことも悪材料となり、期末にかけては続落しました。

## ○為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。期首より、メキシコ州知事選挙で与党候補が勝利し、左派政党MORENA台頭への懸念が後退したことなどをを受け、2017年7月半ばにかけて上昇しました。その後、8月半ばから始まったNAFTA再交渉において米国が態度を徐々に硬化させたことで、交渉の行方に対する悲観的な見方が強まったため、10月にかけて下落する展開となりました。FRBによる年内の追加利上げ観測が強まったこともペソ安要因となり、期首比で小幅に下落して期末を迎えました。

## ◆前期における「今後の運用方針」

トランプ政権の通商政策への態度が軟化し、メキシコに対する悲観的な見方は後退しています。NAFTA再交渉の行方や米国の税制改革に国境税の調整が含まれるかどうかなどを見守る必要がありますが、米国側が建設的な態度を維持する限りメキシコ景気が大きなダメージを受ける可能性は小さく、メキシコ株式の下値余地は限定的とみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。継続的な雇用の増加と低水準のインフレにより、メキシコ景気は今後も堅調に推移すると期待されます。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

## メキシコ株マザーファンド

### ◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。また、NAFTA再交渉や2018年7月のメキシコ大統領選挙で市場が不安定化する可能性に備え、業績の安定度が高い企業の組入比率を高めました。個別銘柄では、高い業績成長率にもかかわらず競合他社と比較して割安な水準で取引されていた銀行BANCO DEL BAJIO（金融）やメキシコ国内の規制・競争環境が改善した通信会社AMERICA MOVIL（電気通信サービス）などを買い付けました。一方で、株値上昇により相対的な魅力が低下した銀行GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）や業績見通しが大幅に悪化した金融機関GENEREA（金融）などを売却しました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、銀行を中心とした金融セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、銀行のBANCO DEL BAJIO（金融）やBANREGIO（金融）、食品会社のGRUMA（生活必需品）などを高位の組み入れとしました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額」と市況の推移」をご参照ください。

参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

### 《今後の運用方針》

メキシコ株式市場は、短期的な不透明感が強まっています。NAFTA再交渉は成功裏に終わるとみえますが、交渉の長期化が予想されます。また、2018年7月にはメキシコ大統領選挙があり、2018年春ごろから選挙戦が本格化するに連れ、市場の注目を集めそうです。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株値上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	23円 ( 20) ( 2)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	38 ( 38)
合 計	60

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### (1) 株 式

(2017年5月18日から2017年11月17日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 4,107 ( — )	千メキシコ・ペソ 14,330 ( — )	百株 2,981	千メキシコ・ペソ 12,731

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

#### (2) 投資信託証券

(2017年5月18日から2017年11月17日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	メキシコ	千口 112 ( — )	千メキシコ・ペソ 1,579 (△ 26)	千口 67.8 ( — )	千メキシコ・ペソ 1,237 ( — )

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## (1) 株式

(2017年5月18日から2017年11月17日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BANCO DEL BAJIO SA (メキシコ)	59.3	11,402	192	GENEREA SAB DE CV (メキシコ)	77.5	10,987	141
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L (メキシコ)	85	8,483	99	GRUPO FINANCIERO BANORTE-O (メキシコ)	14.2	10,515	740
EL PUERTO DE LIVERPOOL-C1 (メキシコ)	7.5	6,983	931	RASSINI SAB DE CV (メキシコ)	21	9,768	465
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N (メキシコ)	11	6,255	568	GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	9.9	6,345	640
BECLC SAB DE CV (メキシコ)	31.4	5,887	187	GRUPO FIN SANTANDER-B (メキシコ)	28	6,264	223
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	4.6	5,262	1,143	NEMAK SAB DE CV (メキシコ)	34	3,665	107
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	14	4,900	350	INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N (メキシコ)	6.4	3,573	558
GENEREA SAB DE CV (メキシコ)	29	4,797	165	ALFA S. A. B. -A (メキシコ)	21.6	3,459	160
TELESITES SAB DE CV (メキシコ)	49	4,019	82	WALMART DE MEXICO SAB DE CV (メキシコ)	12.5	3,282	262
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV (メキシコ)	5	3,814	762	EL PUERTO DE LIVERPOOL-C1 (メキシコ)	3.8	3,057	804

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 投資信託証券

(2017年5月18日から2017年11月17日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CONCENTRADORA FIBRA HOTELERA (メキシコ)	112	9,700	86	PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA (メキシコ)	19.8	4,128	208
				ASESOR DE ACTIVOS PRISMA SAP (メキシコ)	48	3,473	72

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## (1) 外国株式

銘柄	株数	期首	当		期末		業種等
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(メキシコ)	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円			
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	109	79	721	4,280	生活必需品		
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	141	42	390	2,316	資本財・サービス		
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA	161	186	1,880	11,150	金融		
RASSINI SAB DE CV	170	—	—	—	一般消費財・サービス		
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	139	146	1,164	6,905	一般消費財・サービス		
NEMAK SAB DE CV	340	—	—	—	一般消費財・サービス		
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	—	180	589	3,494	金融		
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA	120	155	1,445	8,569	素材		
BECLC SAB DE CV	—	314	977	5,798	生活必需品		
GRUPO HOTELERO SANTA FE SAB	1,000	990	981	5,817	一般消費財・サービス		

## メキシコ株マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円		
BANCO DEL BAJIO SA	—	593	2,020	11,980	金融	
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B	33	63	1,095	6,497	資本財・サービス	
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	—	850	1,393	8,261	電気通信サービス	
TELESITES SAB DE CV	8.2	498.2	690	4,091	電気通信サービス	
CEMEX SAB-CPO	1,069.45	1,069.45	1,606	9,525	素材	
GRUMA S. A. B. -B	78	76	1,864	11,056	生活必需品	
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	80	64	1,059	6,282	生活必需品	
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA	—	145	457	2,714	金融	
EL PUERTO DE LIVERPOOL-C1	—	37	470	2,788	一般消費財・サービス	
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV	126	146	1,825	10,823	生活必需品	
GRUPO FIN SANTANDER-B	280	—	—	—	金融	
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N	112	158	1,610	9,547	公益事業	
GENEREA SAB DE CV	485	—	—	—	金融	
GRUPO AEROPORT DEL SURESTE-B	—	9	296	1,759	資本財・サービス	
ALSEA SAB DE CV	211	256	1,462	8,674	一般消費財・サービス	
ALFA S. A. B. -A	216	—	—	—	資本財・サービス	
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	—	140	817	4,848	素材	
WALMART DE MEXICO SAB DE CV	304	254	1,146	6,797	生活必需品	
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	165	23	262	1,557	金融	
ファンド合計	株数、金額	5,347.65	6,473.65	26,229	155,539	
	銘柄数 < 比率 >	21銘柄	24銘柄		<94.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 外国投資信託証券

銘柄	□数	□数	期末	
			評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千メキシコ・ペソ	千円
(メキシコ)				
ASESOR DE ACTIVOS PRISMA SAP	48	—	—	—
CONCENTRADORA FIBRA HOTELERA	—	112	1,367	8,109
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA	19.8	—	—	—
合計	□数、金額	67.8	1,367	8,109
	銘柄数 < 比率 >	2銘柄	1銘柄	<4.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2017年11月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	155,539 千円	93.2 %
投資信託証券	8,109	4.9
コール・ローン等、その他	3,322	1.9
投資信託財産総額	166,971	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.97円、1メキシコ・ペソ＝5.93円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(163,917千円)の投資信託財産総額(166,971千円)に対する比率は、98.2%です。

## ■損益の状況

当期 自 2017年 5月18日 至 2017年11月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,904,854円
受取配当金	1,904,877
受取利息	549
支払利息	△ 572
(B) 有価証券売買損益	△ 7,721,498
売買益	7,759,196
売買損	△ 15,480,694
(C) その他費用	△ 645,070
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 6,461,714
(E) 前期繰越損益金	△ 7,144,405
(F) 解約差損益金	△ 85,542
(G) 追加信託差損益金	△ 412,115
(H) 合計 (D + E + F + G)	△ 14,103,776
次期繰越損益金 (H)	△ 14,103,776

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	166,971,503円
コール・ローン等	1,719,838
株式 (評価額)	155,539,505
投資信託証券 (評価額)	8,109,394
未収入金	1,602,766
(B) 負債	1,568,240
未払金	1,568,240
(C) 純資産総額 (A - B)	165,403,263
元本	179,507,039
次期繰越損益金	△ 14,103,776
(D) 受益権総口数	179,507,039口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,214円

\* 期首における元本額は171,409,382円、当期中における追加設定元本額は23,312,115円、同解約元本額は15,214,458円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド179,507,039円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,214円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は14,103,776円です。